

D12 深層インタラクション

サイバネティックアバターの社会実装

概要

アバター共生社会プロジェクトでは、人がサイバネティックアバター(CA)を使って自在に活躍する社会(アバター共生社会)の実現を目指しています。ここでは研究開発と並行して進めている社会実装のための取り組みとして、実社会実証実験とアバター共生社会企業コンソーシアム(C-CAS2)について紹介します。

特徴

- 実社会でCAを活用する実社会実証実験を数多く実施しています。CAの実社会での使い方を実験的に市民に試してもらい、その結果を研究開発にフィードバックすると共に、社会的受容性について多くの意見をもらいます。
- アバター市場の創出と、本プロジェクトの研究者・技術者との共同研究の促進を目的として、「アバター共生社会企業コンソーシアム(略称:C-CAS2)」を2021年8月に設立しました(会員数:80法人(2022年8月末現在))。
- 実社会実証実験とアバター共生社会企業コンソーシアムを連携させることで、アバター共生社会を、研究者・企業・市民が先取りして体験し、CAの是非を考えることができるようになります。

今後の展開

- 様々な業種や業態の事業をCA化(サイバネティックアバートランスフォーメーション(Cybernetic Avatar Transformation)、AX)することで、社会の様々な場面で、人々が自在に働き、暮らしを楽しむことができる社会を目指します。

テーマ「Society5.0への貢献～サイバーとフィジカルの融合に向けて～」との関連

- サイバーとフィジカルが高度に融合した社会(Society5.0)において、様々な立場の人が、今よりも自在に活躍できるようになる社会の形成に貢献します。



アバター共生社会企業コンソーシアム Corporate Consortium for Avatar Symbiotic Society, C-CAS2

(会員数:80法人(2022年8月末現在))

ヘルスケア・医療分科会 教育支援分科会 ITインフラ分科会
(街づくり分科会 準備中)